

報告事項1

令和6年度事業計画

地盤工学会は公益社団法人として定款に定めた「地盤工学の進歩及び地盤工学に関わる技術者の資質向上を図り、学術・科学技術および文化の振興と社会の発展に寄与することを目的とする」に合致した公益事業を展開してゆく。

地盤工学会員は、自らの専門性を高め社会に貢献するという意識のもと、本部・支部間の連携を密にした学会活動を行っていく。頻発する自然災害の調査・研究は、本部・支部を挙げ、また他学会とも連携して積極的に実施し、様々なかたちで情報発信を行い、市民に必要とされる学会を目指した活動を継続する。地盤工学会誌、地盤工学ジャーナル、Soils and Foundations の出版、年1回の研究発表会の開催など恒常的に実施してきた各種活動の更なる魅力化についても横断的に議論し、複合的な効果を得られるよう内容の充実化を図る。

研究発表会では、Webによる参加・演題管理システムを導入しており、オンラインセッションや現地とオンラインを併用したハイブリッドセッションなど、参加者の多様性に答える形で開催する。同様に、講習会・研究委員会の開催も、オンラインを併用する等など形を変えつつあり、支部開催の講習会や研究委員会にも他支部から参加しやすい環境となってきた。本部・支部併せてコンテンツの充実化を図り、会員サービスの一層の向上を目指す。

昨年度第9回理事会後には、本部支部の予算と決算の現状について共通認識を持つことを目的として本部支部臨時懇談会を開催した。これを踏まえ、今後も引き続き経費の削減に努めながらサービスの一層の充実を図る。会館の維持に関しては、会長特別委員会である中長期ビジョン2023検討委員会でも議論が継続されているところである。2024年1月1日に発生した能登半島地震では、災害連絡会議を通じて地盤工学会調査団を立ち上げ、復旧復興へ向けた調査活動を開始している。また今年度から事業企画戦略室室長（理事）を任命し、学会運営に資する情報提供やトップダウンでの新たな学会活動の提案を期待するところである。

公益事業については、公益法人として要求される「公益事業の収支相償」、「全事業・管理費に占める公益事業費比率の50%以上確保」および「遊休財産額を公益事業費1年分以内に抑える」等の要件の維持に引続き努める。また、公益事業の統合化による再構築業区分の見直し等を検討する。

今年度において実施が計画される事業について、公益目的事業の事業区分毎に以下に示す。

1. 公益出版事業【公1】

公益出版部：地盤工学会誌では、電子版の強みを活かした記事と動画コンテンツの連動、見ごたえのあ

る企画・特集の提供に引き続き傾注する。また、2023年に料金を見直した学会誌面広告について、依頼数増に向けたPRに注力し、発刊案内メールや学会誌電子版HPの工夫や改善を重ねて、会員サービスとしての価値向上と学会誌電子版のアクセス数・ダウンロード数増を図る。地盤工学ジャーナルでは、先進的な学術研究および設計・施工や災害調査に関する論文や報告等を幅広く掲載する編集方針で会員サービスに努める。Soils and Foundationsでは、フルオープンアクセス化の効果の検証を継続しつつ、オープンデータの推進等の新たな試みを模索し、国際誌としての更なる地位向上を推進する。出版事業関係では、既刊本の販売促進に努めるとともに、新刊企画検討から出版の実施に向けて計画的に実行し、会員ないし関係技術者への情報提供に努める。また、次回の学会周年記念事業に向けて、「地盤工学大全（仮称）」刊行の可否および新しい刊行・販売形態の模索を進める。これまでの継続で絶版本等のアーカイブ化を進め、記録の適切な管理に努める。

北海道支部：「北海道の地盤と防災」、「寒冷地地盤工学」、「実務家のための火山灰質土」など、過去に支部が主催した講習会テキスト等の支部出版物の販売促進に努める。

東北支部：過去に支部が主催・作成したシンポジウムや研究委員会等の書籍について、その販売促進に努め、「知っておいてほしい 地盤のはなし」（Web掲載無料資料）についても、広く周知を図る。

北陸支部：令和6年能登半島地震被害調査をもとに「液状化しやすさマップ新潟県版、富山県版、石川県版」の改訂を行う。流水客土技術関連資料集DVDの拡販を引き続き行う。大学の先生方の講師によって実施された「土質力学講座5回シリーズ」の資料を印刷製本する。

関西支部：過去に関西支部が主催したシンポジウムや研究委員会等の資料、「土はおしゃべり」（書籍）等の支部発行物の販売促進を図る。

中国支部：支部独自の論文報告集「地盤と建設」を刊行する。

四国支部：過去に出版したものも含め、四国支部が主催するシンポジウムや研究委員会等の書籍について、その販売促進に努める。

九州支部：過去に九州支部が主催・作成したシンポジウムや研究委員会等の書籍について、その販売促進に努める。

2. 調査・研究事業〔公2〕

総務部：調査研究部と連携して災害報告会を実施する。公益出版部と連携して、調査団報告書をもとにした逐次刊行物（J-STAGEで公開）を刊行する。

調査・研究部：第59回地盤工学研究発表会を開催し、参加者間の活発な討議や有用な情報交換の提供などを通して、学会全体の活動の活性化を図る。成果の最大化を目指した研究委員会の運営を行い、地盤工学の発展・社会への貢献を推進する。第64回地盤工学シンポジウムを開催し、会員への情報還元、

地盤工学の発展を推進する。電子図書室のコンテンツの充実により、会員への調査・研究活動の促進に努める。

基準部：地盤工学に関する規格・基準、および表記法等の制定、管理と、これらに関する図書の編集、出版に継続して取り組む。昨年度同様に予定している「地盤調査の方法と解説」(青本)の改訂に向けて、掲載されている JIS 規格および JGS 基準の見直しを行い、必要に応じて制定・改正を行う。また、新規制定基準のダウンロード販売を、既存基準に対しても実施できるように、継続してその手法および整備を進める。各種基準等の今後の方向性について議論し、部会で確認していく。

北海道支部：例年実施している技術報告会を対面形式(室蘭予定)で実施し、投稿論文を「地盤工学会北海道支部技術報告集第 65 号」として刊行する。

東北支部：例年実施している講演会、地盤工学セミナー、地盤工学フォーラム、地盤工学講座、見学会および 2023 年設置した地盤データベース活用における事業を実施。また、災害調査協定など県の機関との協力関係を強固にする。これらの行事や事業により産官学間や異業種間の様々な交流を促進する。

北陸支部：北陸支部令和 6 年能登半島地震被害調査団により災害協定を締結している国土交通省北陸地方整備局、新潟県、石川県と相互協力し、被災の調査をおこない、公表するイベントを企画する。昨年に引き続き若手、学生会員による支部研究発表会、講習会、講演会、コロキアム、実務者報告会、現場見学会など実施する。

関東支部：令和 6 年度は対面形式でもオンライン形式でも対応可能な各種講演会を企画、実施し、見学会は人数制限を設けるなど、柔軟に対応する。第 21 回関東支部発表会(GeoKanto2024)は、昨年に引き続き、国立オリンピック記念青少年総合センターで対面開催予定である。世代間の交流を目的として若手を対象とした「ソイルストラクチャーコンテスト」や「若手技術者交流セミナー」、歩きながら見て・知って・学ぶ「ジオ散歩」は対面開催を予定している。オンラインでも好評であった「～昭和・平成を駆け抜けたベテランが令和に語り継ぐ～ジオテク語りべ会」を今年度も開催する。各県グループの特色を生かした見学会や関東支部 20 周年記念行事としての特別企画も開催する。令和 4 年に出版された「土の締固め管理-現状・新たな展開・展望-」、「既存杭の撤去・埋戻し方法とその影響を受ける新設杭の設計・施工」書籍の販売促進に努める。また、特別会員、中学・高校等を対象とした出前講座を実施し、会員等が抱える課題や関心などのニーズに即したサービスの提供を行う。

中部支部：第 33 回調査・設計・施工技術報告会、第 36 回中部地盤工学シンポジウムを開催し、技術者および研究者の地盤工学に関する情報交換の機会を設ける。これらは遠方からの参加を容易にするためにオンラインと対面のハイブリッド開催を検討する。また、若手技術者を対象とした見学会について、引き続き見学会運営委員会と若手技術者の会が連携して企画・実施し、地盤工学への関心度を向上させ

る活動を進める。その他、シニア活性化委員会によってシニア会員向けの懇話会・見学会等を企画し、シニア世代による学会活動への継続的参画を図る。さらにシニア活性化委員会と若手技術者の会との連携を図り、次世代への技術伝承に繋がる活動を推進する。最新名古屋地盤図(追補版)の販売に努める。

関西支部：「Kansai Geo-Symposium 2024 ー地下水地盤環境・防災・計測技術に関するシンポジウムー」、
「若手セミナー ～私と地盤とのかかわり～」、「特別講演会」や見学会等の各種行事を、会員のニーズに合わせて開催する。また、滋賀・福井の2地域の「地域地盤研究会」、ならびに、「夢洲の地盤性状と沈下性状に関する研究委員会」と「斜面災害リスク軽減のための4D多層型ハザードマップの構築とその活用方法に関する研究委員会」の2つの研究委員会を通じて活発な調査研究活動を実施する。また、3学協会との共催開催となる「令和6年度施工技術報告会」を実施し、会員や一般市民に対して広く地盤工学技術に関する啓発を進める。さらに、小・中・高校生を対象とした「出前講義」や工業高校・高専生を対象とした「見学会」、市民を対象とした「市民特別講演会」や「ふるさと地盤診断ウォーク」を開催し、広く一般市民の公益に資する活動を行う。

中国支部：「地盤工学セミナー報告会」を開催し、技術者および研究者の地盤工学に関する情報交換の機会を設ける。会員のニーズに応じて「講演会」や「工事報告会」などの定例行事を開催する。また、令和7年度に担当する地盤工学研究発表会の実施に向けた「研究発表会準備会」を新たに設置し、諸準備を始める。

四国支部：技術研究発表会やシンポジウムなどを開催して地盤工学に関する情報交換の機会を設けることで、支部活動の一層の活性化と学会活動の認知度向上に努める。「地盤の動的特性の調査・分析に関する調査研究委員会」、「大雨に伴う斜面災害に関する調査研究委員会」を新たに設立し、地盤防災技術の普及・向上に向けて、調査・研究活動を実施する。さらに、四国4県の若手技術者の学会運営への参画促進や支部事務局業務の効率化の推進により、事業の活性化を図る。

九州支部：九州地盤情報システム協議会において、「九州地盤情報データベース（第3版）」の販売促進を図る。

3. 技術推進事業【公3】

総務部：前年度に立ち上がった広報・DX推進室においては、学会業務のDXを強力に推進する。広報関係の活動は、①タイムリーかつ効果的な情報発信、②社会における地盤工学・地盤技術者の認知・理解向上のための活動、③災害調査活動の情報発信強化、④学会の国際情報発信の4つを柱とする。①および②については、各部、各委員会、および支部と連携し、ホームページ、メールニュース、フェイスブック、プレスリリースなどを駆使し、地盤工学会の活動とその成果を情報発信し、地盤工学・地盤技術者の役割を広く社会に認知・理解してもらうための活動を行う。また、事業活動の横断的な情報発信

に取り組む。③については、災害関連委員会も立ち上がり、精力的に行っている災害調査活動の結果及びデータを一般市民・学会員へ迅速に情報が伝達できるように、バナーの設置などのホームページの改定、フェイスブック等での情報発信を行う。④については、会員システムに関する和文ホームページの更新とともに、英文ホームページの充実を図る。

事業企画戦略室：地盤工学分野の将来の発展や学会運営に貢献しうる情報提供を行う。理事会からのトップダウンによる学会活動の企画・提案の可能性を探る。

会員・支部部：継続的な学会運営のために必要となる会員数の維持を目指し、新入会員の獲得や現会員の定着のため、会員の年齢構成や地域分布に応じたきめ細かな会員サービスを通して、会員継続の方策を着実に実施する。技術普及のための講習会では、受講スタイルの多様化による受講機会増加や地域格差の解消を図る。継続教育では、実際の活動に見合ったCPDの獲得が可能なようにコンテンツの充実を図り、学会外から要請される審査を精力的に実施していく。地盤品質判定士資格制度に関しては、更なる発展に向けて本制度のPR・定着に努めるとともに、判定士の活躍できる場の拡大、有資格者の継続的な教育体制の構築を目指す。ダイバーシティ会費減免制度等により、多様な人材の参画を促すとともに、行事開催により、会員同士の意見交換・交流の場を提供し、学会活動の活性化を図る。

国際部：国際地盤工学会との連携および各種国際交流活動の推進を継続し、地盤工学を通して国際貢献を行う。第8回国際地震地盤工学会議の開催運営（大阪：5/7-10 開催予定）、日印韓3か国ワークショップ（京都：5/11 開催予定）、第10回アジア地域若手地盤工学会議（ジャカルタ 11/12-15 開催予定）への参加者支援、国際地盤工学会の技術委員会（TC、ATC）およびそれに関わる国内行事や Young Member Presidential Group 活動へのサポート等を行うとともに、地盤工学の新たな分野を開拓するための国際行事の企画を行う。以上を通して、学会ならびに会員の国際化・国際力強化に資する活動を行う。

北海道支部：支部主催講習会を参集型で行う。また、主として若手技術者を対象としたセミナーや勉強会を開催する。他学協会との協賛行事に積極的に取り組み学会の啓蒙を図る。5 学会連絡会（地盤工学会、土木学会、日本地すべり学会、砂防学会、農業農村工学会の各学会の北海道支部で構成）に基づいた連携による災害調査活動およびその他の活動の活発化を図る。支部ホームページや SNS を利用した広報活動を積極的に行い、会員サービスの充実、支部活動の活性化に努める。

東北支部：土質力学遠隔授業（オンライン開催）を実施。他学協会との協賛（共催）行事、女性の会員の活動にも積極的に取り組むとともに活性化委員会が主導して様々な活動を行い支部の活性化を図る。支部ホームページを利用した広報活動を積極的に行い、会員サービスの充実を図る。

北陸支部：災害協定に基づき自治体職員に対する研修会を開催する。大学の先生らによる土質力学講座

をシリーズ形式で実施する。セミナー、現場技術者のための講習会、実務者報告会をなるべく対面で実施し、建設コンサルタンツ協会など関連学会協との連携を強化し、支部活動の活性化と新規会員の獲得を目指す。

関東支部：研究委員会活動と県グループ活動等とのタイアップによる講習会の開催、他学会とのシンポジウム共催など各地の官公庁・公的機関や地盤関連の各種法人・団体との連携を図り、成果の普及や学術振興の機会を幅広く設けた活動を行う。

中部支部：技術者や研究者を主対象に各種セミナーを開催する。引き続き、他学協会との連携開催による技術者・研究者交流を推進するほか、地盤工学セミナーにおいては、学び直しや若手の技術力向上のための講座を計画する。これらは遠方からの参加を容易にするためにオンラインと対面のハイブリッド開催を推進していく。地盤調査ボーリング作業、物理探査～室内土質試験講習会を継続開催する。併せて会員サービスの充実（セミナーなど特別会員同行者無料等）を図る。その他、学校や企業等からの依頼に基づき出前講義を開催する。

関西支部：会員や一般市民のニーズにあわせた講習会・講演会として、「技術講習会」、「実技セミナー」を実施し、会員サービスの充実を図る。支部ホームページや SNS を利用した広報活動を積極的に行い、支部活動の活性化に努める。

中国支部：会員のニーズに沿った講習会を計画し、対面・オンラインの両方を活用して開催するなどサービスの充実に努める。

四国支部：地盤や防災に関する講習会など、会員のニーズを反映した行事を企画・運営することにより、会員サービスの充実を図る。また、本部との連携を図りながら、地方講演会を開催する。

九州支部：実務に役立つことを目指した講習会の開催を始め、特別講演会、オンラインセミナー、地区活動、見学会、他学会、協会との協賛行事等を全 8 地区で取り組んでいく。

4. 表彰関連事業【公4】

総務部：地盤工学の発展に長年にわたり多大な貢献をされた会員を名誉会員として推薦する。また、新分野に関する研究推進・技術開発を促進する賞の募集を行う。さらに、地盤工学学会賞を受賞した研究・技術の国等の表彰制度への推薦を強化する。

北海道支部：例年どおり支部賞および支部賞学生部門の表彰を行う。支部発行「技術報告集」から新進者を対象に選定し、地盤工学に関する学術および技術の進歩発展を奨励する。また、H30 年度より新たに支部特別表彰として、実績のあるエキスパートによる特に優れた技術報告があった際にはその貢献を表彰する制度を設けたので、これを継続する。

東北支部：支部表彰を例年どおり行う。支部表彰（技術的業績部門）は、地盤工学フォーラムにおいて

応募者によるプレゼンテーションを実施する。また、支部表彰（貢献的業績部門）においても公募を行い、業績内容を広く会員に公開する。

北陸支部：支部賞として、論文部門研究功績賞、論文部門研究奨励賞、技術部門技術賞、企画部門企画賞、功績部門功績賞の募集を行い優れた活動・業績を表彰する。

関東支部：関東支部賞（技術賞、功績賞）の表彰を行う。また、支部発表会において優秀発表者の表彰も行う。

中部支部：個人、団体の学会活動や業績に十分配慮し、支部活動の一層の活性化へ繋がるよう、中部支部賞（研究奨励賞、技術賞、功績賞）の表彰を行う。

関西支部：支部会員の地盤工学に関する学術・技術の向上・普及に資する優れた活動や社会に貢献を行った活動に対し「学術賞」、「学術奨励賞」、「地盤技術賞」、「社会貢献賞」の各支部表彰を行う。

中国支部：「地盤と建設」論文賞、「地盤と建設」論文奨励賞、「地盤工学セミナー」報告賞、技術賞の支部表彰を行う。

四国支部：地盤工学の学術並びに技術の発展と学会支部活動の活性化に寄与した優れた業績を表彰するために、四国支部賞（技術賞、技術開発賞、研究・論文賞、および功績賞）として表彰する。また、技術研究発表会において、特に優秀な若手技術者を「優秀発表者」として表彰する。

九州支部：九州支部技術賞（団体の部・個人の部）、九州支部貢献賞、優良学生賞の表彰を行う。

1. 公益出版事業【公1】

(1) 学会誌「地盤工学会誌」の発行

担当部	誌名	年発行回数	編集方針
【公益出版部】	「地盤工学会誌」	12回(月刊)	道路の防災・減災、国土強靱化に向けたプロジェクト(仮題)【4月号】/次世代を担う地盤技術者の育成に向けて(仮題)【5月号】/その他【6月号】/地盤材料物性・地盤挙動【7月号】/構造物の設計、施工【8月号】/地盤環境・エネルギー開発・資源開発【9月号】/法令・コンプライアンス・技術者倫理【10月号】/地盤工学研究発表会【11月号】/その他【12月号】/調査技術・実験法【1月号】/地盤の工学的問題の解析【2月号】/地盤防災【3月号】(いずれも予定)

(2) 公益出版(論文集・刊行物)

1) 「地盤工学会災害調査論文報告集」、「Soils and Foundations」、「地盤工学ジャーナル」

担当部	誌名	年発行回数	編集方針
【総務部】	「地盤工学会災害調査論文報告集」	1-2回(不定期)	最近発生した地盤災害の調査報告ならびに過去に発生した地盤にまつわる災害事象の総括報告などの特集を中心に、不定期に発行する。
【公益出版部】	「Soils and Foundations」	6回(隔月刊)	質の高い論文を迅速に発刊するとともに、特集号、災害調査報告、先進的な国内技術情報の掲載を通して学会の国際情報発信と学術の発展に寄与する。
	「地盤工学ジャーナル」	4回(季刊)	実務と現場に直結した情報を速報性を確保して掲載(電子配信・邦文主体)

2) 学術図書等(新刊)

担当部	出版期日	書名
【公益出版部】	9.1	交通地盤工学入門
	12.25	シールド工法(改訂版)
【調査・研究部】	5月予定	第59回地盤工学研究発表会発表講演集
	11月予定	第64回地盤工学シンポジウム論文集
計 4 点		

2. 調査研究・基準事業【公2】

(1) 研究発表会、シンポジウム、講演会等

担当部	開催期日	名称	開催場所
【調査・研究部】	6.7.23-26	第59回地盤工学研究発表会	旭川市・オンライン 東京都文京区
	6.11.26	第64回地盤工学シンポジウム	
計 2 回			

(2) 見学会等(会員および一般市民向け活動)

(3) 各種研究委員会、災害調査委員会

1) 研究・調査委員会等

担当部	委員会名	備考
【調査・研究部】	〔研究委員会〕	2023年度に総務部から移管
	海洋・港湾の地盤工学の新展開に関する研究委員会	
	地球環境問題の解決に向けた環境地盤工学分野の新たな展開に関する研究委員会	
	災害調査データの収集と活用委員会	
	極端降雨・巨大地震に対応した斜面防災対策研究委員会	
地盤工学におけるデジタルセンシング技術とその評価技術及び活用方法に関する研究委員会		
計 5 件		

(4) 試験法・調査法の基準制定、ISOへの対応

担当部	基準名等	備考
【基準部】	〔新規制定地盤工学会基準〕	
	地盤調査関係および地盤設計施工関係の新規・改正基準	
【基準部】	〔ISO対応〕	
	ISO/TC182(Geotechnics, 地盤工学), TC190(Soil quality, 地盤環境), TC221(Geosynthetics, ジオシンセティックス)における制定と見直し(改正、廃止、確認等)に関する審議	
計 2 件		

(5) 受託研究・技術指導

担当部	委員会名	備考
【基準部】	ISO国内委員会 TC182国内専門委員会 広域地盤特性評価WG(表面波探査に関する国際標準化)	
計 1 件		

3. 技術推進事業【公3】

(1) 継続教育（講習会、system構築・記録管理・証明）

1) 講習会の開催

担当部	開催期日	名 称	開催場所
【会員・支部部】	5月予定	はじめてまなぶFEM講習会	東京及びオンライン
	6月予定	フレッシュャーズのための『統・土質力学』講習会	東京及びオンライン
	6月予定	圧密に関する基礎知識とその応用講習会	東京及びオンライン
	6月予定	地下水調査に用いる井戸理論式の整理及び解説に関する講習会	東京及びオンライン
	7月予定	土砂災害に関する技術講習会	東京及びオンライン
	7月予定	現場における地盤調査法の基本講習会	東京及びオンライン
	8月-9月予定	わかりやすい地盤工学基礎シリーズ講習会（3日間）	東京及びオンライン
	8月予定	わかってつかうFEM講習会（2日間）	東京及びオンライン
	10月予定	液状化解析の専門技術講習会	東京及びオンライン
	10月予定	山留め・土留めの設計講習会	東京及びオンライン
	11月予定	第1回宅地地盤の評価に関する最近の知見講習会	東京及びオンライン
	11月予定	河川堤防の調査・検討・維持管理講習会（2日間）	東京及びオンライン
	12月予定	液状化に関する各種基準・指針の現状の講習会	東京及びオンライン
	12月予定	実務者のための土と基礎の設計計算演習講習会（構造物基礎編）	東京及びオンライン
	1月予定	第2回宅地地盤の評価に関する最近の知見講習会	東京及びオンライン
	1月・2月予定	盛土構造物に関する講習会（2日間）	東京及びオンライン
	2月予定	実務者のための土と基礎の設計計算演習講習会（軟弱地盤・耐震・液状化、山留め・斜面安定解析編）（2日間）	東京及びオンライン
	2月予定	交通地盤工学入門 講習会（仮題）	東京及びオンライン
	3月予定	基礎の支持力と変形入門講習会	東京及びオンライン
	計 19 回		

2) 継続教育システム構築、記録管理、証明

(2) 国際交流、国際的学術・技術交流

1) 国際会議・シンポジウム

担当部	開催期日	活 動 項 目	開催場所
【国際部】	6.05.07-10	第8回国際地震地盤工学会議 The 8th International Conference on Earthquake Geotechnical Engineering (SICEGE)	大阪市
	6.05.11	日印韓3か国ワークショップ 1st India-Japan-Korea Trilateral Joint Geotechnical Workshop	京都市
	6.11.12-15	第10回アジア地域若手地盤工学会議 10th Asian Young Geotechnical Engineers Conference (10AYGEC)	京都市
計 3 件			

2) 国際講演会等の開催

担当部	開催期日	活 動 項 目	開催場所
【国際部】	未定	国際講演会	未定
計 1 件			

3) 国際関係委員会等

担当部	委 員 会 名	備 考
【国際部】	[TC101] Laboratory Testing (Laboratory Stress Strain Strength Testing of Geomaterials) 国内委員会	
	[TC103] Numerical Methods in Geomechanics 国内委員会	
	[TC105] Geo-Mechanics (Geo-Mechanics from Micro to Macro) 国内委員会	
	[TC202] Transportation (Transportation Geotechnics) 国内委員会	
	[TC221] Tailings and Mine Waste 国内委員会	
	[TC302] TCommittee on Observational Method 国内委員会	
	[ATC1] Geotechnical Mitigation and Adaptation to Climate Change-induced Geo-disasters in Asia -Pacific Regions 国内委員会	
	[ATC3] Geotechnology for Natural Hazards 国内委員会	
	[ATC10] Urban Geo-informatics 国内委員会	
	[ATC19] Geo-engineering for Conservation of Heritage Monuments and Historical Sites 国内委員会	
計 10 件		

4. 表彰関連事業〔公4〕

(1) 表彰

- 1) 学会賞の募集、審査、表彰
- 2) 出版賞の募集、審査、表彰
- 3) 名誉会員の推挙
- 4) 貢献賞の授与
- 5) 特別会員表彰、事業企画賞、学会誌優秀賞、地盤工学研究発表会優秀論文発表者賞等の授与、永年にわたる正会員への感謝状贈呈
- 6) 支部表彰ほか

5. 運営関係委員会等

担当部	委員会等	備考
【総務部】	第66回通常総会 理事会 正副会長会議 選挙管理委員会 表彰委員会 災害連絡会議 広報・DX推進室 総務部会	
【事業企画戦略室】	事業企画戦略室会議	
【会員・支部部】	会員・支部部会 本部支部連絡協議会 技術普及委員会 継続教育システム委員会 男女共同参画・ダイバーシティに関する委員会	
【国際部】	国際部会	
【公益出版部】	公益出版部会 出版事業グループ 「地盤工学会誌」編集委員会 「Soils and Foundations」編集委員会 「地盤工学ジャーナル」編集委員会 地盤工学・入門シリーズ「交通地盤工学入門(仮称)」編集委員会 地盤工学・実務シリーズ「シールド工法(改訂版)」編集委員会	
【調査・研究部】	調査・研究部会 研究・連携・情報委員会 研究発表会委員会 地盤環境企画委員会 岩盤工学企画委員会 第59回地盤工学研究発表会実行委員会 第60回地盤工学研究発表会実行委員会	
【基準部】	基準部会 ISO国内委員会 地盤工学表記法委員会 室内試験規格・基準委員会 地盤調査規格・基準委員会 地盤設計・施工基準委員会	
計 35 件		

6. 支部活動（支部事業計画）

(事業区分)		【北海道支部】	
〔共通〕	1. 総会、役員会等	①総会 ②商議員会 ③幹事会	4/19 4月、2月、その他適宜メール審議実施 適宜開催、各グループ 每では随時開催
〔公2〕 〔公4〕 〔共通〕	2. 委員会の活動	①支部表彰委員会 ②地盤災害緊急対応委員会 ③積雪寒冷地における土構造物の設計と施工に関する研究委員会 ④会員拡大検討委員会	適宜 適宜 適宜 適宜
〔公2〕	3. 研究発表会、シンポジウム、報告会等	①技術報告会	室蘭市(1月予定)
〔公3〕 〔公2〕 講習演 習会	4. 講演会、講習会等	4.1 講習会 ①本部地方講演会(盛土規制法の改訂について) ①支部主催参集型講習会 4.2 セミナー 4.3 若手勉強会	札幌 時期未定 1回程度 時期未定 札幌市他 2回程度 時期未定 札幌市 時期未定
〔公3〕	5. 国際活動	—	
〔公1〕	6. 新刊発行予定		
〔公4〕	7. 表彰	①支部賞(支部賞、支部賞(学生部門)、支部特別表彰)	
〔共通〕	8. その他	広報活動 ・北海道支部ホームページの管理 ・SNS (Facebook) を使った広報, 行事参加報告 ・技術報告集の広報用謹呈作業 ・技術報告集バックナンバーのWeb公開作業	

(事業区分)		【東北支部】	
〔共通〕	1. 総会、役員会等	①総会 ②商議員会 ③幹事会	4/18または25 2回(第1回 4/18または25、第2回 2月) 幹事会 2回(第1回 6月 第2回 1月) 常任幹事会 3回(第1回 5月 第2回 11月 第3回 2月)
〔公2〕 〔公4〕 〔共通〕	2. 委員会の活動	①地盤研究委員会 ②東北地域地盤災害研究委員会 ②-1地盤データベース利活用小委員会 地盤データベース利活用 ②-2地盤リスク検討小委員会 ③地震時における地盤の大変形・崩壊挙動の解析技術に関する研究委員会 ④資源循環研究委員会 ⑤渉外委員会 ⑥表彰委員会 ⑦広報委員会 ⑧支部活動活性化委員会	適宜 適宜 適宜 適宜 適宜 適宜 適宜 適宜 適宜
〔公2〕	3. 研究発表会、シンポジウム、報告会等	①地盤工学セミナー ②地盤工学講座 ③地盤工学フォーラム	(6月) ハイブリット(10-12月) (1月)
〔公2〕 〔公3〕	4. 講演会、講習会等	①見学会 ②講習会 ③講演会 ④地域会 ⑤土質力学遠隔授業	(10月) (適宜) (4月・1月) (適宜) オンライン(7-9月)
〔公3〕	5. 国際活動	—	
〔公1〕	6. 新刊発行予定	—	
〔公4〕	7. 表彰	①支部賞(審査のうえ表彰)	
〔共通〕	8. その他	①広報活動 ・支部HPの更新(随時) ・G-CPD普及活動(随時)	

(事業区分)		【北陸支部】	
〔共通〕	1. 総会、役員会等	①総会 ②商議員会 ③幹事会	4月23日（金沢市開催） 2回（2月、11月） 各県3回（5-6月）
〔公2〕 〔公4〕 〔共通〕	2. 委員会の活動	①北陸支部表彰委員会 ②ユースネットワーク委員会	適宜 適宜
〔公2〕	3. 研究発表会、シンポジウム	①第88回土質工学最新情報コロキウム ②石川地区実務者報告会 ③第89回土質工学最新情報コロキウム ④第28回地盤工学に関わる実務者報告会	富山地区（5月） 石川地区（12月） 石川地区（10月） 新潟地区（1月）
〔公2〕 〔公3〕	4. 講演会、講習会等	①講演会 ②ジオテクセミナー ③ジオテクフォーラム ④見学会 ⑤第18回地盤調査法講習会 新潟市 ⑥土質力学講座シリーズ ⑦災害協定に基づく関係職員研修会 ⑧現場技術者のための土質力学：第11回 金沢市	(3回程度) (適宜) (適宜) (各県1回計3回) (10月) (10月から5回) 富山地区（8月） 石川地区（9月）
〔公3〕	5. 国際活動	—	
〔公1〕	6. 新刊発行予定	土質力学講座シリーズ	
〔公4〕	7. 表彰	①北陸支部賞（技術賞、技術開発賞、論文賞、功績賞）	
〔共通〕	8. その他	—	

(事業区分)		【関東支部】	
〔共通〕	1. 総会、役員会等	①総会 ②商議員会 ③幹事会	支部総会 (4/24) 3回(10月、2月・4月は書面会議) 各グループ 毎に適宜実施
〔公2〕 〔公4〕 〔共通〕	2. 委員会の活動	①運営委員会 ②表彰委員会 ③無機系吸水性材料を用いた土の改質技術の利活用に関する研究委員会 ④中空ねじりによる液状化強度試験の高精度化に関する研究委員会 ⑤防災戦略の意思決定プロセスに資する総合的な自然災害安全性指標 (GNS) 実現に関する研究委員会 ⑥地盤情報を活用した気候変動が地盤災害リスクに与える影響の研究委員会 ⑦1～2の新規委員会	年間4回 年間1回 適宜 適宜 適宜 適宜 適宜
〔公2〕	3. 研究発表会、シンポジウム、報告会等	①GeoKanto2024 (支部発表会) ②支部交流会	東京(11/22) 東京他(適宜)
〔公2〕 〔公3〕	4. 講演会、講習会等	4.1 講演会 ①講演会 ②特別講演会 ③ジオテク語りべ会 4.2 講習会 ①講習会 ②勉強会 ③セミナー 4.3 見学会 ①工事現場・研究所等見学会 ②ジオ散歩 4.4 その他 ①東京地区、支部間連携における行事企画 (講演会、講習会など) ②事業実施機関等の特別会員に対する技術交流 (意見交換を含む) ③学校および特別会員向け出張講座 ④ソイルストラクチャーコンテスト	東京他(適宜) 東京(適宜) 東京(適宜) 東京他(適宜) 東京他(適宜) 東京他(適宜) 東京他(適宜) 東京他(適宜) 東京他(適宜) 東京他(適宜) 場所：未定、時期：未定 東京(適宜) 随時 東京(適宜)
〔公3〕	5. 国際活動	①国際講演会	東京(適宜)
〔公1〕	6. 新刊発行予定	—	
〔公4〕	7. 表彰	①関東支部賞(技術賞、功績賞)の表彰 ②支部発表会優秀発表者賞の表彰	4月 11月
〔共通〕	8. その他	①Newsletter発行 ②関東支部ホームページ更新、メーリングリストによる行事案内等の発信 ③若手会員や特別会員拡充に関する検討 「若手技術者交流会」 ④国土交通省関東地方整備局と締結した「災害調査協定」の運用・整備 ⑤時事問題専門家意見表明サイト開設	2回(10月、3月) 随時 時期未定

(事業区分)		【関西支部】	
〔共通〕	1. 総会、役員会等	①総会 ②商議員会 ③幹事会 ④支部活性化ワーキング ⑤顧問会 ⑥合同委員会（各委員会委員長との意見交換） ⑦代議員懇談会（支部代表の代議員との意見交換）	(4/26) 年間2回 年間4回 年間4回 年間1回 年間2回 年間1回
	2. 委員会の活動	①地盤工学広報企画委員会 ②福井地域地盤研究会 ③和歌山地域地盤研究会 ④滋賀地域地盤研究会 ⑤夢洲の地盤性状と沈下性状に関する研究委員会 ⑥斜面災害リスク軽減のための4D多層型ハザードマップの構築とその利活用方法に関する研究委員会 ⑦表彰委員会	年間2回 年間3回 無期限休止中 年間3回 適宜 適宜 委員会・選考会 年間1回
〔公2〕	3. 研究発表会、シンポジウム、報告会等	①Kansai Geo-Symposium 2024 ②施工技術報告会	(11/29) 4学協会共催・後援（2月）
〔公2〕 〔公3〕	4. 講演会、講習会等	4.1 講演会 ①総会時特別講演会 ②市民特別講演会 4.2 見学会 ①現場見学会 ②ふるさと地盤診断ウォーク ③工業高校・高専対象見学会 4.3 講習会 ①「技術講習会」 4.4 実技セミナー ①第65回実技セミナー 4.5 若手セミナー ①「若手セミナー～私と地盤とのかかわり～」 4.6 その他 ①出前授業	支部総会時（4/26） 地盤工学広報企画委員会主催（1月） (9月～10月頃) 地盤工学広報企画委員会主催（10・11月） 地盤工学広報企画委員会主催（随時開催） (10月頃) (6月) (11月頃) 地盤工学広報企画委員会主催（随時開催）
	〔公3〕	5. 国際活動	—
〔公1〕	6. 新刊発行予定	—	
〔公4〕	7. 表彰	①関西支部賞(学術賞、学術奨励賞、地盤技術賞、社会貢献賞)の表彰	次年度支部総会時
〔共通〕	8. その他	①関西支部ホームページ更新、SNS・メーリングリストによる行事案内等の発信 ②会員へのサービスの充実	随時

(事業区分)		【中国支部】	
〔共通〕	1. 総会、役員会等	①総会 ②商議員会 ③幹事会	4/26 4月、2月 4/26、10月、1月、地域幹事会随時
〔公3〕 〔公4〕	2. 委員会の活動	①論文報告集「地盤と建設」編集委員会 ②国際委員会 ③表彰委員会	
〔公2〕	3. 研究発表会、シンポジウム、報告会等	①工事報告会*土木学会と共催 ②地盤工学セミナー報告会	広島(時期未定) 山口(6/28)
〔公2〕 〔公3〕	4. 講演会、講習会等	①講演会 ②講習会 ③講習会 ④講習会 ⑤講習会 ⑥講習会 ⑦講習会	オンライン(時期未定) 山口(5/23) 鳥取(8月頃) 広島(9月頃) 松江(9月頃) 岡山(10月頃) オンライン(全6回)
〔公3〕	5. 国際活動	①国際活動支援事業	(詳細未定)
〔公1〕	6. 新刊発行予定	①論文報告集「地盤と建設」<第42巻第1号>	
〔公4〕	7. 表彰	①地盤工学セミナー報告賞 ②「地盤と建設」論文賞 ③「地盤と建設」論文奨励賞 ④技術賞	
〔共通〕	8. その他	—	

(事業区分)		【四国支部】	
〔共通〕	1. 総会、役員会等	①総会 ②商議員会 ③幹事会	高松市(4月) Web会議, 年2回程度(4・2月) Web会議, 年3回程度(4・7・2月)
〔公2〕 〔公4〕	2. 委員会の活動	①地盤の動的特性の調査・分析に関する調査研究委員会 ②大雨に伴う斜面災害に関する調査研究委員会 ③論文審査委員会 ④表彰委員会 ⑤各県(徳島・香川・高知・愛媛)地盤工学研究会	年3回程度 年3回程度 年1回 年1回 各県年数回程度
〔公2〕	3. 研究発表会、シンポジウム、報告会等	①技術研究発表会 ②地盤と防災・環境に関するシンポジウム	愛媛県(12月(予定)) 徳島県(8月(予定))
〔公2〕 〔公3〕	4. 講演会、講習会等	①学術講演会 ②技術講習会 ③現地見学会 ④愛媛県地盤工学研究会講演会 ⑤高知県地盤工学研究会講演会 ⑥香川県地盤工学研究会講演会 ⑦徳島県地盤工学研究会講演会 ⑧本部派遣地方講演会	未定 香川県(時期未定) 愛媛県(時期未定) 松山市(時期未定) 高知市(時期未定) 高松市(時期未定) 徳島市(時期未定) 高松市(時期未定)
〔公3〕	5. 国際活動	—	
〔公1〕	6. 新刊発行予定	—	
〔公4〕	7. 表彰	①技術研究発表会優秀発表者賞 ②四国支部賞	
〔共通〕	8. その他	—	

(事業区分)		【九州支部】	
〔共通〕	1. 総会、役員会等	①総会 ②商議委員会 ③幹事会 ④顧問会	福岡市(4/25) 3月 1回程度 4月
〔公2〕 〔公4〕 〔共通〕	2. 委員会の活動	①総務企画委員会 ②事業推進委員会 ③広報委員会 ④国際委員会 ⑤研究委員会 「九州・沖縄の地盤」(仮)執筆準備委員会 ⑥表彰委員会 ⑦九州地盤情報システム協議会 ⑧会員増加推進委員会 ⑨将来ビジョン検討委員会	適宜開催(メール審議) 九州建設技術フォーラムのブース管理 委員会(3回)、ジオテクミーティング、JS-Surabaya 若手セミナー(1回) 福岡市(6回程度) 表彰:福岡市(12・2月) 企画部会(1回)、幹事会(2回)、協議会(1回) ランチミーティング(12回)、委員会(6回)
〔公2〕	3. 研究発表会、シンポジウム、報告会等	—	
〔公2〕 〔公3〕	4. 講演会、講習会等	①「技術士養成塾」 ガイダンス 受験申込書・筆記試験添削講座 模擬面接講座 ②講習会 ・講習会(対面で実施) ③特別講演会 ④各地区勉強会・講習会等多数 ・定例セミナー「ジオテクセミナー」/現場見学会 ・定例勉強会「ジオラボ」/現場見学会 ・定例「土の勉強会」 ・地盤工学セミナー ・地盤の勉強会 ・定例セミナー「ジオテクセミナー」/技術講演会 ・地盤の勉強会/地盤災害に関するシンポジウム ⑤見学会	オンライン(4月上旬) 通信添削(4月中旬~7月上旬) 福岡市(11月上旬) 福岡市(1回) 福岡市(12月頃) 九州各地区 北九州(6回程度) 長崎(2月を除く偶数月) 鹿児島(2ヶ月に1回奇数月) 佐賀(2回) 熊本(1回程度) 大分(5回程度) 宮崎(3回程度) 北九州(10-11月)長崎(10月)
〔公3〕	5. 国際活動	JS-Surabaya、若手セミナー、ジオテクミーティング	
〔公1〕	6. 新刊発行予定	—	
〔公4〕	7. 表彰	①令和6年度九州支部技術賞(団体の部・個人の部)の募集を行い、審査のうえ表彰する ②令和6年度九州支部貢献賞の募集を行い審査のうえ表彰する ③令和6年度九州支部優良学生賞を審査のうえ表彰する	
〔共通〕	8. その他	—	